

•Tackle Guide
竿はメバル竿や軟調子のゲームロッドが釣りやすい。仕掛けはカサゴ仕様の枝が短いものよりも、図のようなエビメバル仕様の仕掛けがおすすめ。

当日の夜メバル&カサゴ仕掛け

ゴツゴツとアタリがきてもすぐに合わせず、エサを完全に飲み込んで竿が絞り込まれたら竿を立てて合わせる、といったことをアドバイスする。それを聞いていた右舷2番の藤江さんが「持ち込んだタックルが硬すぎるかも」と不安を口にしたので「これを使うと食い込みがよくなりますよ」とクッションゴムを手渡した。

右舷に回り込むと3人グループで参加していた中山さんが小型ながら2尾のカサゴを釣り上げれば、負けじと仲間の池田さんが18センチのカサゴを抜き上げる。山下さんも「俺もダブルだぜ」とライバル対決の真っ最中のようにだ。ミヨシに移動すると藤江さんが18センチほどのカサゴを釣り上げたので写真に収めたが、その後も彼は大健闘。なんと皆が3〜4尾の釣果の時点で10尾のカサゴをタルに泳がせていた。「快調ですね」と私が言うとお借りしたクッションゴムのおかげです」と照れ笑いを見せた。

私が釣り方をレクチャーした橋本さんも1尾目を釣ってからコツをつかんだのだろう。徐々に数をのばして、「カサゴのおいしい食べ方を教えてください」と早くもア



▲メバルは暗くなってからチャンスタイム

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

5~6月は海が穏やかな日が多い沖釣りに最適なシーズン。しかし紫外線が強い時期でもあるので日焼け対策はお忘れなく!

▼カサゴは明るいうちからバリバリ釣れる



「釣りはしたいけど早起きは苦手」という方は夜釣りに出かけてみてはいかがだろうか。これからは各種の夜釣りがシーズンを迎えるが、代表的なのが夜メバル・カサゴだ。そこで4月23日、土日祝日限定でこの釣りに出船している東京湾奥横浜の広島屋に出かけてきた。

夜釣りの船に乗ると日中船からダブルヘッドの人をよく見かけるが、実は私もこの日は広島屋のシロギス船に乗った後に夜メバル・カサゴの取材をするというスケジュールを立てていた。

シロギス乗合は親子連れあり、ビギナーさんのグループありでほんわかとした雰囲気。水温が低いからか、シロギスのアタリは頻繁にあるものの吸い込みが弱いためにハリ掛かり率は今一つ。それでも皆さん一人20尾以上、トップで

フターフィッシングに想いを馳せる。

親子で乗船していた竹内莉玖斗君も初めてのころは苦戦していたものの、徐々にベイスアップして釣ったカサゴを堂々と差し出してうれしそうに写真に応じてくれた。

第2本命の登場

メバルが最初に顔を出したのは18時15分のこと。「メバルが上がったよ」と言う船長のマイクで右舷胸の間に回り込むと、伊藤さんが22センチのメバルを釣り上げていた。

それを写真に収めていると再び船長から「その前の人にメバルだよ」と声がかかり、振り返ると藤江さんが25センチのメバルを抜き上げてガッツポーズ。

夜のとばりが落ち始めるとカサゴに交じって各所でポツ

リポツリとメバルが顔を出すようになる。

暗くなるとカサゴの警戒心も薄れるのか、カサゴもサイズアップしてきて釣り応えも申し分ない。

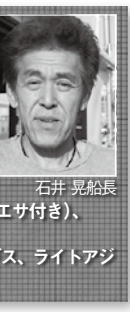
皆さんのタルの中も魚で埋まってきて、残り1時間を切ったところで私も釣りに参加。ゴツゴツとした海底を積極的にリサーチ。根掛かりのリスクはあるものの、それを恐れていると釣果は望めない。するとゴツゴツと明確で硬い感触のアタリが竿先に出たので静止すると、ギョウギン引き込み、ここで合わせを入れると軟調竿が弧を描いた。心地よい引き味を楽しみながら抜き上げたのは25センチの良型カサゴ。

エサを付け替えてすぐに再投入するとほどなくしてゴツゴツとアタリ。同じように2度目の引き込みに合わせを入れると先ほど以上に激しく抵抗してきた。それも海面まで途切れることなくファイトしてくるので、「よもや」と思ったとおり、ヒットしてきたのは25センチのメバル。

アタリが遠くなっ

船宿information
東京湾奥横浜
広島屋
☎045-622-8615
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=夜メバル乗合一人 6500円 (エサ付き)、水 250円
▶備考=17時15分出船。ほかシロギス、ライトアジへも出船。無料駐車場あり



てくると船長は船を移動させて再び釣れ始めるという展開が続き、20時40分に沖揚がりの時間を迎えた。

釣果は15〜28センチのカサゴが14〜35尾、20〜28センチのメバルが0〜6尾。

この釣りは実釣時間が3時間ほどと短いので、仕掛けのトラブルがあったらすぐに交換してロスタイムをなくすことが大切。そのため仕掛けやおモリは事前に多めに購入しておくことをおすすめしたい。



▶カサゴは大小交じる

夜釣りが楽しい季節到来!!
湾奥のメバル・カサゴで遊ぶ

東京湾奥横浜発 ↓ 横浜沖
本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

48尾のシロギスを確保して楽しい思い出とともに家路についた。

16時になると徐々に夜釣りのお客さんが集まり始め、待合室で釣り談義が始まる。

前半はカサゴ優勢

情報交換を済ませて17時に14名を乗せて出船。「今日は濁りが強いから初めから浅場に向かいます」と告げて石井晃船長が向かったのは横浜沖の水深6メートルの護岸近くだ。

私の隣の橋本さんが、「この釣りは初めてなのでコツを教えてください」とのことだったので、エサのアオイソメは1匹付ける。口の硬い部分にハリを刺して尻尾を少し切ると汁が出て集魚効果がある。明るいうちはカサゴがメインとなるので、オモリで底をコツコツしたら竿をゆっ

知得! Tips and Tricks
夜メバル&カサゴの便利アイテム

▼釣行前にヘッドライトの電池を確認しよう

暗くなると船上ライトが点灯されるが、手元が暗い釣座はエサ付けに苦労するのでヘッドライトがあると便利。またメバルもカサゴもヒレにトゲがあるので魚つかみがあると安全だ。カサゴの口は硬いので、ハリを外すときペンチがあると重宝する。

くりと立てて誘い落とすとい。メバルが釣れ始めたら水深の半分ぐらいいまでジリジリと巻き上げてからゆっくりと再び海底まで仕掛けを下ろす。

●すずき よしかず/最近、古今亭志ん朝の落語にはまっています。その影響で江戸っ子口調になっちゃってなりやせんぜ。どうにかなりやせんか? 若旦那。